

ジャバラの修理

その修理方法なんですが一般的には



パーマセルテープを貼り付けてピンホールを無かった事にしてしまうのが主流でしょう。

しかし大判のように蛇腹が取り外し可能であれば問題無いのですがスプリング式カメラのように折りたたんで収納するタイプであればテープ分の厚みが増して折りたためなくなってしまう。

それを無理矢理折りたたむと折り目で大きく負担が掛かり最悪は折り目から裂けてしまいます。実際私も折り目で裂けたのは経験しております。

そしてテープは粘着物が熱や劣化で蛇腹をベタベタにしまいます。

長期間折りたたんだままですと粘着物同士がくっつき蛇腹を伸ばした際に表面の革を剥がしてしまうのです。

こうなってしまうとピンホールではすまない領域の光漏れが発生してしまいます。

似たような修理方法でゴム系の黒いボンドを塗り付けると言う方法がありますが一番やってはいけない方法ですね。

ボンドが乾いていても確実にボンド同士が接触していればくっついてしまい取り返しの付かない状態になるでしょう。

そこで私が行っている修理方法なんですが他では紹介されていない方法で修理しております。

その方法ですが

出ました!! ソフト 99 のタッチアップペン。

(Ex. 「SOFT99 チョット塗りペイント皮革用ブラック」 ヨドバシカメラ 667円)



でもいつも利用している金属用では無く革用のタッチアップペンになります。

要はピンホール部に薄い塗料の膜を貼ってしまおうと言う考えですね。

もっと入手の容易な同様製品に革染めQがありますがあちらはダメでした。

まず、革が硬くなります。そしてあまりピンホールが改善されませんでした。

ソフト 99 の革用タッチアップペンの凄いところは

- 厚みがほとんど増加しない。
- 素材が硬くなりにくい
- 乾けばひっつかない
- 粘りがあるので伸縮させてもひび割れしない
- 作業が簡単

となかなかの優れモノです。

コツとしては少し厚めに塗る事位でしょうか？

ちなみに私の利用しているトヨフィールドですがこのペンを利用して修理を施してから丸三年が経ちますが一切不具合無しです。

ただ、面積が大きい場合には不向きですのでピンホールの度合いに応じてパーマセルと使い分けて下さい。

「切った貼ったの篠工房」からのアドバイスでした。

<下の赤い文字列をクリックすると飛びます>

(有) 篠工房

ここではカメラやオーディオについて危険な活動を紹介していきます。

あまり真剣に見てると戻ってこれなくなるかもしれません。適当に流して見て下さい。

なお、工房主はこのサイトを見て危険な状態に陥っても責任は取りかねます。